

2年連続の入賞

千徳が金賞

全国新酒会 新評鑑

全国酒類コンクールでは10位に

審で二年連続して入賞酒に選ばれていた。

審査はI部（原料米として山田錦以外を単独か併用で使用、もしくは山田錦の使用割合が50%以下で製造した吟醸酒）とII部（山田錦が50%超の吟醸酒）があり、「千徳」はII部に出品。全国九百二十一点の中から二百五十七点の金賞酒に残った。

新酒鑑評会は明治四十四年から開催され、今年で九十三回目。熊本国税局管内ではII部に十八点、熊本五

独立行政法人酒類総合研究所（広島）が主催する全国新酒鑑評会は十一、十二日、同研究所で決審が行われ、延岡市の千徳酒造（田丸貞社長）の「千徳」が金賞を受賞した。「千徳」は先に行われた熊本国税局管内の鑑評会で入賞し全国に出

「千徳」が金賞を受けた千徳酒造の「千徳」



大分十二点が入賞し、十一位が金賞を受賞した。「千徳」は昨年、四十四、五年ぶりに全国入賞を果たしていた。

また、三月に開かれた第

4600年前にぶどう酒

古代人、醸造や宴会習慣も

中国

【北京14日時事】中国の山東大学考古研究所が米研究者と合同で、山東省日照市両城鎮の遺跡から出土した陶器を化学分析した結果、今から約四千六百年前の新石器時代にぶどう酒が

醸造されていたとの研究結果をまとめ、このほど発表した。国営新華社通信が十四日伝えた。

同大学研究者は「両城鎮の古代人は酒を飲んで宴会を行う習慣があり、祭儀の

際に酒や酒器を使用していた可能性が高い」と指摘した。

腎疾患治療の新薬で透析

京都大大学院薬学研究所

の辻本豪三教授らの研究グループと東レ（東京都中央区）は、特定たんぱく質が腎疾患を悪化させることを世界で初めて発見し、この分子の機能を制御する新薬の共同開発に乗り出した。十六日付米科学アカデミー紀要電子版に発表された。